

令和4年度 社会福祉法人こなんSSN 事業計画書

I 事業方針
<p>今年度はこなんSSNが開設して25周年となる。「第5期ライフサポートプラン」が終了し、新たに「第6期ライフサポートプラン～生き生きプラン～」を創設。ここでは高齢精神障害者が介護保険サービスとの連携や共生を図り、制度のはざまに陥らないよう安心して活動できるための支援を展開していく。障害者雇用はこれまでの在り方を見直し、新たに当事者の力を発揮できる場を作るべく「こなんSSNモデル」の立ち上げを検討していく。またこれまでの各事業においては、利用者の幅広いニーズに応え、より活躍・安心できる場となるよう展開、今後5年間をかけた法人事業をさらに進化、確立させていく。</p> <p>今年度は当事者の力を発揮できる場づくりとして「雇用のあり方」の検討、グループホームの支援体制強化、定員増に併せて輝の施設整備を重点的に取り組む。同時にそれらを支える職員が生き生きと働ける労働環境整備（研修・フォローアップ等）、法人本部の組織強化を図っていく。</p>
II 事業内容
①指定障害福祉サービス事業所の運営
<ul style="list-style-type: none">・グループホーム運営 「Dear House」・就労継続支援B型運営 「シエスタ」「こなんSSN」「凧日和」・相談支援事業運営「大地」「雫」・自立生活援助事業運営「流星」・生活介護事業運営「輝」
②法人事業
<ul style="list-style-type: none">・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）・地域交流事業（共催：サポーターの会）・たより作成（年3回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理・精神保健福祉に関する研修・職員・メンバー研修（研修旅行・セルフヘルプ・事例検討会）・「凧日和」の駐車場整備・「輝」の施設整備・地域の精神保健医療とも連携した新たなアプローチや支援の在り方の検討 → 地域連絡会の活用など
③県の精神保健福祉充実のための新たな社会資源作りに向けた事業
<ul style="list-style-type: none">・GHの支援体制強化、また大地、雫、流星を含めた地域生活支援体制の充実・法人施設での雇用の在り方「こなんSSNモデル」を検討・セルフヘルプグループの育成をはかる
④その他
<ul style="list-style-type: none">・こなんSSN25周年記念事業の検討

令和4年度 相談支援事業所 大地 事業計画書

職員5名

活動目標
湖南圏域在住のシエスタ・こなんSSN登録利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。あわせて、相談員の育成、スキルアップをはかり、事業が円滑に遂行できるよう努めていく。
活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活全般にわたる相談 ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 ・サービス等利用計画の作成及び評価 ・訪問等による継続的なモニタリング ・前各号に付帯するその他必要な援助
サービス種別
指定特定相談支援事業 (平成26年11月1日指定)
所在地
草津市集町160-3

令和4年度 相談支援事業所 雫 事業計画書

職員3名

活動目標
東近江市近辺在住の凧日和新規利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。
活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活全般にわたる相談 ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 ・サービス等利用計画の作成及び評価 ・訪問等による継続的なモニタリング ・前各号に付帯するその他必要な援助
サービス種別
指定特定相談支援事業 (令和3年4月1日指定)
所在地
東近江市建部日吉町644-1

令和4年度 グループホーム Dear House 事業計画書

定員12名 職員13名

活動目標	
グループホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。	
活動内容	
①管理・運営	
<ul style="list-style-type: none"> グループホームの管理・運営を行う。 職員体制を強化 	
②相談・援助	
<ul style="list-style-type: none"> グループホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。 日常生活の相談援助（食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等） 社会生活の相談援助（対人関係・社会資源の利用等） 	
居住施設	
<p><草津市></p> <ul style="list-style-type: none"> DearHouse 定員6名 (男性) 和（なごみ） 定員2名 ピレッジハウス 定員1名 <p><東近江市></p> <ul style="list-style-type: none"> 陽だまり 定員3名 	

令和4年度 自立生活援助事業所 流星 事業計画書

職員3名

活動目標	
利用者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう。居宅への定期的な訪問を行い、生活状況の確認と必要な情報提供を行う。また各支援機関との連絡調整を行う。	
活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> 居宅訪問による生活状況の確認 日常生活全般にわたる相談 地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 自立生活援助計画の作成及び評価 訪問等による継続的なモニタリング 	
サービス種別	
自立生活援助事業 (平成30年12月1日指定)	
所在地	
草津市集町160-3	

令和4年度 就労継続支援B型 シエスタ 事業計画書

定員20名 職員9名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p> <ul style="list-style-type: none"> 部品組み立て軽作業・畑作業 作業内容の充実を検討
<p>②喫茶店「茶処ひびき」経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ランチ等の提供 洋菓子の製造及び販売 新メニュー開発 イベント開催（秋祭り協賛） PR活動等
<p>③サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回：レク&食事会・昼食会（参加型）・シエスタ食堂・スポーツとサロン活動（交互に） 年1回：1泊バス旅行（次年度以降のバス旅行について検討）・小グループ活動 メンバー施設外研修 ニュースポーツ 随時：ドライブ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動
<p>④自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループ活動 勉強会 クラブ活動
<p>⑤生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
<p>⑥就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
<p>⑦啓発活動・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族交流会（年2回） 地域連絡会（年2回） こなんSSNだより発行（年3回） イベント開催
<p>⑧障害者雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して雇用していく
<p>⑨その他</p>

令和4年度 生活介護事業所 輝 事業計画書

定員10名 職員5名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①日中活動を通し日常生活機能維持や向上を目指す。生き甲斐を見いだすため生産活動・レクリエーション等の提供をする。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
①作業
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングの下請け ・採尿キット袋詰めの下請け
②プログラム
<ul style="list-style-type: none"> ・食事作り ・個々のニーズにあった過ごし方、プログラムを検討
③サロン活動
<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月1回：レク&食事会 ・偶数月1回：健康維持のための取り組み（スポーツ・体操等）・昼食会 ・年1回：日帰りバス旅行・小グループ活動 メンバー施設外研修 ・随時：ドライブ・散歩・図書館利用・手芸・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動
④自主活動
<ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動 ・毎朝のラジオ体操
⑤生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
⑥就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望にあう働き方を支援
⑦啓発活動・ネットワークづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催
⑧障害者雇用
⑨その他
<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の検討・準備

令和4年度 就労継続支援B型 こなんSSN 事業計画書(案)

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
①作業
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃作業や古紙回収など出向を中心にしたグループ就労 ・軽作業（班長制度） ・自主製品販売先確保と拡大 ・農業班をつくり、農作物の年間を通した作業・販売を実施
②サロン活動
<ul style="list-style-type: none"> ・年9回：レク&食事会 ・年2回：季節レク(半日レク) ・隔月：昼食会 ・年1回：バス旅行（日帰り旅行）、次年度以降のバス旅行について検討会を立ち上げ ・随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等 有料・・・買い物、カラオケ、昼食 ・年1回：施設外研修
③自主活動
<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動（料理、創作等）、クラブ・グループ活動の育成 フードドライブの食材を活用 ・小グループ活動等自主活動の活性化、レク内容の幅を広げる働きかけを行う ・他の作業所の活動を知る取り組み
④生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援 ・メンバー対象の勉強会開催（料理教室と作品づくりを交互に） ・健康講座（食事や運動における工夫）
⑤就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
⑥啓発活動・ネットワークづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（隔年大津圏域と湖南圏域） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント参加

令和4年度 就労継続支援B型 凧日和 事業計画書

定員20名 職員7名

活動目標

精神障害者を対象として、
①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。
②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。
③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。
以上を目標とする。

支援の質の向上のため、職員それぞれが他機関で開催される研修会（勉強会）等に関心をもち、意欲的に参加していくことで、学びや視野を広げ、他機関との交流を深めていく事に努める。

活動内容

①作業

- ・部品組み立てやパソコン入力等の軽作業（単価や効率など作業内容を整理し工賃アップをはかる）
- ・グループ就労（大学清掃・洗口液配達）
- ・caféまめいるは内容の充実、事業の拡充をすすめる

②サロン活動

- ・レク&食事会（隔月1回）は、利用者が主体的に検討・提案ができるよう実行委員会を継続（新しい顔ぶれで様々な意見を取り入れていく）
- ・健康レク（月1回 ヨガ）
- ・昼食会（隔月1回）
- ・バス旅行（年1回：メンバーの希望で検討）
- ・散歩、絵画、手芸、書道などメンバーそれぞれにあった活動（随時）

③自主活動

- ・小グループ活動の積極的利用に繋がるよう働きかけや実行にむけてサポート
- ・サークル活動（漢字・手芸・ガーデニングなど）
- ・毎朝のラジオ体操、昼休みのウォーキング
- ・凧の会（OB含集まり） 月2回開催（月1回の土曜日開催も検討）

④生活支援

- ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
- ・食生活や適度な運動など、健康的な生活を営む上で大切なことを学ぶ勉強会の開催（年4回程度）

⑤就労支援

- ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
- ・就労したメンバーのフォローアップとして当事者の集まれる場（凧の会）の運営

⑥啓発活動・ネットワークづくり

- ・15周年記念事業の開催を検討
- ・家族交流会（年2回）
- ・地域連絡会（年2回）
- ・こなんSSNだより発行（年3回）
- ・福祉団体赤い羽根地域活動事業助成金等を活用した地域交流行事の開催
- ・地域の方と交流できる場として施設の活用を検討